



自ら考えた質問で田村市長にインタビューする生徒たち

いろいろな仕事を体験

市立松尾中学校職場体験学習

松尾中学校2年生46人の職場体験学習が8月30、31の両日、市内の保育所や老人ホーム、ホテルなどで行われました。市役所の広報作成の体験には、佐々木向日葵さん、立柳涼汰君が挑戦。2人はパソコンを用いて広報編集の作業をした後、市役所内の各部署をまわって業務内容の説明を受けたり、疑問に思ったことを質問したりするなど取材に取り組みました。向日葵さんは「貴重な経験をすることができた。将来に生かしたいと思う」と、感想を述べました。

ネット依存症に警告を

市生涯学習推進大会

市生涯学習推進大会が9月24日、松尾コミュニティセンターで開かれました。市PTA連絡協議会研修会との併催で、会場には、教育関係者や保護者ら約200人が来場しました。大会では、玉川大学大学院の近藤昭一教授(教育学)が『情報メディアとの上手な付き合い方—学校・家庭・地域の役割—』と題し講演。近藤教授は「スマホの普及によりネット依存に陥り、人間関係を良好に築けない子どもが増えている。PTAや地域でできる対策を講じることが重要」と、訴えました。



壇上で講演する近藤昭一教授

不自由を体験し育む心

平成28年度バリアフリー教室

国土交通省東北運輸局岩手運輸支局は9月9日、大更小学校4年生の児童61人を対象にバリアフリー教室を開催しました。この教室は、高齢者、障がい者の介助や疑似体験を通じ、バリアフリーに関する理解を深めたり、お互いに助け合える社会の実現を目的に開催されました。参加した小学生たちは「補装具を付けると高齢者が普段痛く、つらい思いをしていることが体験できた。これからは優しく接したい」と、思いやりの心を学びました。



高齢者の疑似体験で北森駅の結ロードを歩く児童たち

今年もヒーローが集結

IWATEハチマンタイダイナマイト

今年で8回目となるIWATEハチマンタイダイナマイトが9月11日、市さくら公園で開催されました。催しには、若鷲護神ハチマンタイラーや鉄神ガンライザーなど、7団体のご当地ヒーローが出演。会場には「ゆるキャラ」も登場し、家族連れの子どもたちは、一緒に記念撮影をするなどしてイベントを楽しみました。小林友春くん(5歳)=温泉郷=は「ヒーローに会えるのが楽しみ。ショーも早く見たいです」と目を輝かせていました。



岩手・茨城・栃木・北海道からヒーローが集結



集結した名車・旧車に見入る来場者たち

名車・旧車ずらり並ぶ

第18回ノスタルジックカーin八幡平

第18回ノスタルジックカーin八幡平が9月20日、市さくら公園で開催されました。会場には、約160台の名車・旧車が集結。1960～1980年式の車が多く並び、各オーナーと車談義に花を咲かせる人や初めて見る車を珍しがり記念撮影する人など、全国から集まった愛好家たちは車を通して交流を楽しみました。当日はコンサートライブの開催や屋台の出店もあり、家族連れなど多くの人出でにぎわいました。

隣県と合同で街頭活動

岩手県岩手警察署・秋田県鹿角警察署合同街頭活動

岩手と鹿角の両警察署は9月23日、田山地区相沢橋と秋田県湯瀬ドライブインの両駐車帯で交通安全を呼び掛ける街頭活動を実施しました。両県をまたぐ国道282号で、八幡平市民が鹿角市内で亡くなる死亡事故が発生したことから、今年から連携して街頭活動を実施。両県の警察署職員や交通指導隊、安代地区交通安全協会、交通安全母の会などから約30人が参加し、ドライバーへ交通安全運動のチラシを配布して、注意喚起を促しました。



ドライバーへ安全運転を呼び掛ける交通安全母の会の人たち

すなっぷギャラリー



市柔道協会の竹田直也さんから柔道の受け身を学ぶ児童たち(9月8日、平舘学童受け身教室)



園児たちがゴールを目指して一生懸命走りました(9月10日、松野保育所運動会)



震災復興支援スポーツ少年団交流大会in八幡平2016を開催(9月25日、松尾総合運動公園)



野駄地域の皆さんが「大黒舞」を披露(9月17日、地域密着型介護老人福祉施設「はらからの里」前)



家族で友人同士でたすきつなぎ楽しんだあっぱりレマラソン(9月11日、安比高原)